

## 2 令和6年度事業シート

### 施策 1-1

### 災害から生命を守るまち

#### 【区の特性に応じたまちづくり事業】

No.	1	事業名	DISCOVER NAKAGAWA PROJECT ～若き防災人材の第一歩～		区分	拡充
担当課	総務課	関係部署(所)	地域力推進課			
事業目的	若い世代の防災意識を高め、継続的な防災人材の確保・育成及び防災対策を行う区民の増加を図る。					
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>オリジナル避難所開設キットの作製・訓練 経験がない区民でも避難所開設できるキットを作製し、中学生を中心とした地域住民を対象に訓練を実施する。</li> <li>成人の日記念行事における防災用品の配布 20歳の区民を対象に、災害への備えに直結するような防災用品を配布し、防災対策の啓発を行う。</li> </ol>					
目標	避難所開設キットの作製	R6 目標		R5 実績		
		2 か所		1 か所		

No.	2	事業名	区民の自助力向上		区分	拡充
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署			
事業目的	区民一人ひとりの防災意識を高め、より多くの区民が防災対策に取り組むよう促すことで、地域防災力の向上を図る。					
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>なごやハザードマップ防災ガイドブックを活用した啓発 全戸配布した「なごやハザードマップ防災ガイドブック」を活用し、災害リスクや避難経路の確認、防災用品の備蓄等、区民一人ひとりが取り組む防災対策について、各種訓練や市政出前トーク等の機会を捉えて啓発を行う。</li> <li>浸水深看板の設置 区民の日常の生活圏内において、その場所で想定されている浸水リスクを視認できる看板をさらに設置する。</li> <li>戸別訪問の機会を活用した啓発 消防署が実施する戸別訪問と連携して、各家庭訪問時に家具転倒防止対策状況の聞き取りや防災対策についての意識啓発を行う。</li> <li>広報媒体を活用した啓発 区公式ウェブサイトや広報なごや等の広報媒体を活用し、防災対策についての意識啓発を行う。</li> </ol>					
目標	浸水深看板の設置	R6 目標		R5 実績		
		12 か所		-		

## 2 令和6年度事業シート

### 施策 1-1

### 災害から生命を守るまち

No.	3	事業名	地域の防災活動への支援	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署		
事業目的	学区ごとに行われる防災訓練等の防災活動が、より効果的な内容となるよう支援することで、地域防災力の向上を図る。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>避難所における資機材等の確認 主要な避難所となる小中学校において、資機材等の点検や操作訓練を学区とともにいき、円滑な避難所運営体制づくりを促進する。</li> <li>自主防災組織への活動支援 個々の自主防災組織が実施する防災活動に対し、消防署と連携して自助力・共助力の向上につながる活動支援を行う。</li> </ol>				
目標	避難所における資機材等の操作確認	R6 目標	R5 実績		
		24 学区	24 学区		

No.	4	事業名	災害対応体制の強化	区分	継続
担当課	総務課	関係部署(所)	消防署ほか		
事業目的	発災時に区本部として、関係機関と連携しながら、円滑な災害対応を行うことができるよう、体制の強化を図る。				
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>発災時初動シミュレーション訓練の実施 発災当初に区本部として必要となる対応について、区職員を対象とした訓練を行う。また、行動内容や必要物品の検討を行う。</li> <li>関係機関と連携した訓練の実施 総合水防訓練・総合防災訓練について、学区や関係機関と連携しながら、住民参加型の訓練を中心とした内容で実施する。また、区社会福祉協議会及び名古屋なかがわ災害ボランティアネットワークとの協働で災害ボランティアセンター訓練を、中川警察署との協働で遺体安置所訓練等をそれぞれ実施する。</li> </ol>				
目標	発災時初動シミュレーション訓練 総合水防訓練 総合防災訓練 災害ボランティアセンター訓練 遺体安置所訓練	R6 目標	R5 実績		
		各 1 回	各 1 回		

## 2 令和6年度事業シート

### 施策 1-2

### 犯罪や交通事故から生命と財産を守るまち

#### 【区の特성에応じたまちづくり事業】

No.	5	事業名	DISCOVER NAKAGAWA PROJECT ～犯罪のない未来を子どもたちへ～		区分	新規
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	地域が行う防犯活動において、より効果的な啓発やパトロールなどが行えるよう、区役所や関係機関が支援することにより、活動の活性化を図るとともに、子どもたちが犯罪や事故から守られるまちを目指す。					
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>重点学区に対する防犯活動支援 前年度の刑法犯発生件数が多い4学区を重点学区として選定し、それぞれの傾向に応じた罪種に対する啓発に必要な資材や啓発物品を支給し、地域での防犯活動を支援する。</li> <li>防犯活動講習会 地域で防犯活動をする方を対象に、効果的な活動方法や啓発手法などを学べる講習会を実施し、地域での防犯活動を支援する。</li> <li>子ども向け安心・安全ブックの作成 犯罪や事故に遭わない、巻き込まれないための知識普及のための冊子を、子どもを対象とした内容で作成し配布する。</li> </ol>					
目標	重点学区における刑法犯発生件数	R6 目標		R5 実績		
		前年比減		前年比増		

No.	6	事業名	地域における自転車パトロールの推進		区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	自転車による自主的及び日常的な防犯パトロール活動の推進を通じて、区民の防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。					
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>自転車パトロール隊の結成 住宅対象侵入盗などの主要犯罪が多発している学区を対象に、自転車パトロール隊を結成し、自主的及び日常的な防犯パトロールを推進する。</li> <li>結成学区における警察署による講話の開催 結成学区において、自転車パトロール隊を対象とした防犯講話を警察署と連携して行う。</li> <li>自転車パトロール隊への活動支援 これまでに自転車パトロール隊を結成した学区に対して、警察署と連携して住宅対象侵入盗などの主要犯罪の発生状況や手口などを、資料やチラシ、「犯罪注意マップ」などによって情報提供を行うとともに、防犯パトロールなどの活動を支援する。</li> </ol>					
目標	①自転車パトロール隊新規隊員数 ②結成学区における住宅対象侵入盗年間件数	R6 目標		R5 実績		
		① 50人 ②前年比減		① 40人 ②前年比減		

## 2 令和6年度事業シート

### 施策 1-2

### 犯罪や交通事故から生命と財産を守るまち

No.	7	事業名	防犯対策の推進		区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	犯罪発生状況に応じた啓発キャンペーンや啓発活動等により区民の防犯意識を高め、地域における生活安全活動の盛り上げを図ることで犯罪の抑止につなげる。					
事業内容	<p>1 啓発キャンペーンの実施</p> <p>(1) 広報活動・啓発キャンペーンの実施 生活安全市民運動期間(年4回)を中心に、警察署と連携して効果的な啓発キャンペーンを実施する。</p> <p>(2) 高校生と協働した啓発活動 高校生による区内商業施設でのキャンペーンの実施と犯罪別啓発用音声作成により、地域の防犯対策の推進を図るとともに、高校生の防犯意識向上を図る。</p> <p>(3) 自転車ツーロック啓発動画を使用した啓発 機会捉えて自転車ツーロック啓発動画を放映し、盗難防止を啓発する。</p> <p>2 犯罪状況に応じた啓発活動の実施</p> <p>(1) 犯罪予測 AI*の活用 犯罪予測 AI アプリを活用したパトロールと実態調査を行う。</p> <p>(2) 犯罪注意マップの作成 警察署と連携し、住宅対象侵入盗、自動車関連窃盗、特殊詐欺被害の発生状況を各地域の地図に記載した「犯罪注意マップ」を年4回作成し、各学区に配布するほか、区公式ウェブサイトに公開する。</p>					
目標	区内3高校との協働による啓発キャンペーンの実施	R6 目標		R5 実績		
		3回		3回		

※犯罪予測 AI：名古屋市が犯罪抑止の取り組み支援のため活用している AI(人工知能)による犯罪予測を用いた防犯パトロール支援アプリのこと。

## 2 令和6年度事業シート

### 施策 1-2

### 犯罪や交通事故から生命と財産を守るまち

No.	8	事業名	交通安全対策の推進		区分	拡充
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	啓発キャンペーンや交通安全教室の実施、交通事故発生状況に応じた啓発活動等を通じて、区民の交通安全意識を高め、交通事故の抑止につなげる。					
事業内容	<p>1 啓発キャンペーン等の実施</p> <p>(1) 啓発キャンペーン等の実施 交通安全市民運動期間(年4回)を中心に、交通事故抑止キャンペーンを地域・警察署と連携し実施する。</p> <p>(2) 園児及び小学生対象の交通安全教室や高齢者向け交通安全講話の実施 様々な手法による交通安全教室の実施により園児・児童の効果的な交通安全意識の向上を図る。高齢者が集まる機会を捉えて交通安全講話を実施し、交通事故防止の対策について普及啓発を図る。</p> <p>(3) 中川区マスコットキャラクター「ナッピー」の反射材の配布 「ナッピー」の反射材を小学校入学児童に配布することで、児童とその保護者に対して啓発を行い、家庭内から交通安全意識の向上を図る。</p> <p>(4) 交通安全広報の実施 警察署・関係団体と連携し、様々な広報媒体やSNS、メディアの活用により、広く交通安全思想の普及を行う。</p> <p>2 交通事故発生状況に応じた啓発活動の実施 交通事故件数が多い学区を「交通安全強化学区」として選定し、学区住民や警察署と連携した啓発活動を実施する。</p>					
目標	①交通安全教室の実施 区内全学区 ②交通安全強化学区における啓発活動の実施		R6 目標		R5 実績	
			① 70回 ② 2回	① 57回 ② 2回		

## 2 令和6年度事業シート

### 施策 1-2

### 犯罪や交通事故から生命と財産を守るまち

No.	9	事業名	自転車乗車時のヘルメット着用推進		区分	継続
担当課	地域力推進課	関係部署(所)	警察署			
事業目的	「自転車ヘルメット広め隊」の結成と、その隊員による啓発活動を通じて、区民の自転車乗車時のヘルメット着用に対する意識を高め、自転車の交通死亡事故の抑止につなげる。					
事業内容	<p>1 「自転車ヘルメット広め隊」の委嘱 交通安全強化学区指定学区において「自転車ヘルメット広め隊」委嘱及び警察署による交通安全講話を実施し、自転車運転の正しい知識の習得やヘルメット着用に対する意識の向上を図るとともに、周囲の方々へ日常的に呼びかけてもらう。</p> <p>2 「自転車ヘルメット広め隊」による啓発キャンペーンの実施 警察署と連携して、ヘルメット着用を促進する啓発キャンペーンを、区内の集客施設や自転車利用者が多い交差点、駅付近や、イベント開催の機会などに合わせて実施する。</p> <p>3 交通安全教室におけるヘルメットの着用啓発 保育園児、小学生及び高齢者等を対象とした交通安全教室において、警察署や交通指導員からヘルメットの重要性を伝え、着用に対する区民の意識転換を図る。</p>					
目標	①自転車ヘルメット広め隊隊員の新規委嘱 ②交通安全教室開催でのヘルメット着用啓発	R6 目標		R5 実績		
		①累計 210人 ②区内全学区	①累計 180人 ②区内全学区			